

URAを配置した8拠点

シニアURA

1. **医学部附属病院 戦略開発推進室**・・・試験物製造、非臨床試験から臨床試験までを円滑に行うことによりTRシーズの実用化に向けたプロジェクトの推進。URAの配置により研究支援業務を強化する。
2. **工学系研究科**・・・研究科の「学術調整室」にURAを副室長として配置し、工学系研究科内の戦略的な研究費申請や専攻横断的あるいは部局横断的研究プロジェクトの立案準備や学術調整業務を担当させる。
3. **先端科学技術研究センター**・・・総教職員数約500名、35の専門分野・部門名を冠した研究室から成る附置研直属の経営戦略室にURAを配置し、3つのカテゴリ「大型プロジェクト対応」、「産学連携」、「国際連携」の各業務を総括させる。

URA

1. **グローバルCOEプログラム「学融合に基づく医療システムイノベーション」(CMSI)**・・・医、工、薬の3分野にまたがる教育研究拠点の事務局にURAを配置する。主に事務局のマネジメント全般を担当しつつも、幹事会やプログラム運営委員会に代表される拠点のマネジメント会議に出席し、拠点リーダーや各分野リーダーと連携して拠点の運営業務やリサーチ・アドミニストレーション業務に当たる。
2. **グローバルCOEプログラム「理工連携による化学イノベーション」、理学系研究科化学専攻、理学系研究科**・・・本プログラムの特徴は、化学におけるサイエンスとしての特徴と、社会的な課題を解決するエンジニアリングとしての特徴を両立させていることにある。理学を中心とする分野でさらに研究者の世界的競争力を強化するために、URAを配置、かつURA育成体制を確立する。プレアワードからポストアワードにわたる幅広い業務を担当する。
3. **フotonサイエンス研究機構**・・・光化学を通じて宇宙、物質、生命といった人類の知のフロンティアの開拓に挑戦し、新技術を開発する拠点。URAは本事業と並行して連携する大学院博士課程教育改革事業のフotonサイエンス・リーディング大学院や他研究科、他大学、他研究機関、先端光企業との懸け橋にもなり、研究遂行上、障害等が発生しないように円滑に行えるようにする。
4. **グローバルCOEプログラム「ゲノム情報ビッグバンから読み解く生命圏」**・・・各事業推進担当者は、学外機関を含む複数の組織に所属し、地理的にも離れ、研究分野も多岐にわたっている(研究対象試料の選別、ゲノム解読、バイオインフォマティクス、超並列プログラミングの4グループ)。URAの配置によりプログラム全体の研究リソースの効果的な配分、進捗状況の把握の飛躍的改善を図る。
5. **政策ビジョン研究センター**・・・総合大学である東京大学の利点を活かし、関連する多分野の研究を結びつけ、そこから生まれる十分なエビデンスに基づいた最先端の研究成果を、社会における様々なステークホルダーと連携しつつ、現実の社会における課題解決のための政策の選択肢として提言・発信することを目的とする。文系、理系にまたがる社会連携型研究を組織化し、運営することに関して職員がより能動的に、しかしソフトに関与する体制と実践をURA配置により試みる。